

# 養老川の浸水想定区域図について



【平成8年9月 台風17号の洪水状況】

## 浸水想定区域図の背景

養老川の治水整備事業は進めているが、ハード対策には多大な費用・時間が必要であり、なかなか進まないのが現状  
一方、最近では、地球温暖化等が要因と思われる気象現象の変化により、局地的な集中豪雨も発生しており、洪水の危険性が高まっている

又、都市化の進展に伴う人口、資産の集積により、一度氾濫が発生したときは被害が甚大となることが予測される



このような背景の中で、平成17年7月に改正水防法が施行  
千葉県知事は、養老川を「水位情報周知河川」に指定し、ソフト面の治水対策をより充実するものとするため、浸水想定区域図を作成し、指定・公表を行うこととなった

# 浸水想定区域図の目的

洪水により、養老川の堤防が決壊した場合に、予想される浸水区域、浸水深を事前に公表する。  
これにより、円滑かつ迅速な避難の確保を図り洪水被害の軽減に資する。

## 【目的】

- ・危険性を知る・・・水害で、どこの地域が、どの程度の浸水被害を生じるかを知る
- ・避難に役立つ・・・水害への関心を高め、水害の恐れがある時や水害時の避難に役立つ。
- ・生活の工夫・・・水害に強い生活への工夫に役立つ

## 検討対象氾濫区域

【縦断方向の検討区域】  
河口～高滝ダムまで  
(L=32km)

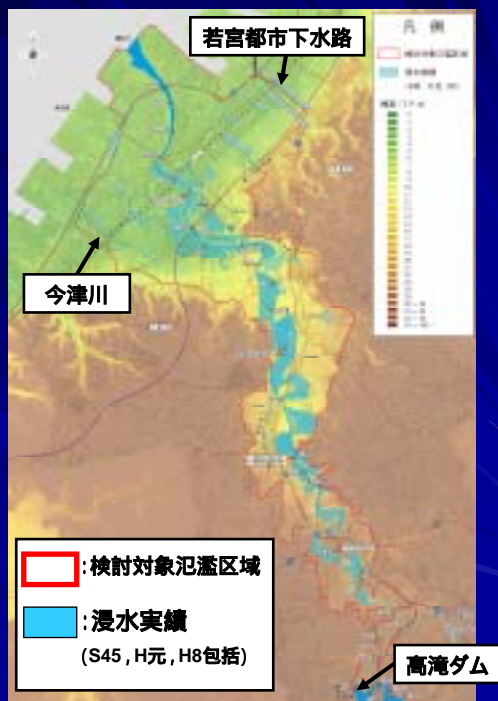
【横断方向の検討区域】

西広堰上流  
山裾まで

西広堰下流

左岸側：今津川

右岸側：若宮都市下水道  
1号幹線



# 検討対象降雨・流量

検討対象降雨は、養老川の河川整備基本方針(案)における基本高水(洪水防御に関する計画の基本となる洪水)を定める際に基本となる降雨とした。

概ね100年に1度起こる大雨(368mm/24時間)とし、流量は既往最大規模の出水であった、平成8年9月洪水の約1.7倍の流量を想定した。

1/100年確率の流量 1,800(m<sup>3</sup>/s)      平成8年9月洪水流量 1,070(m<sup>3</sup>/s)

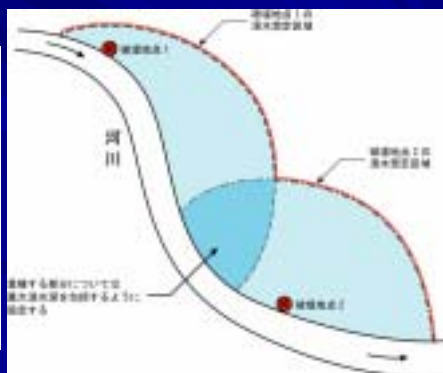
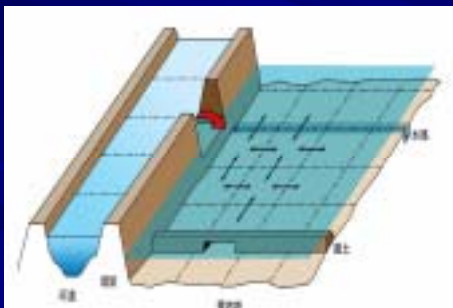


# 浸水想定区域図の作成

破堤を想定した地点ごとに氾濫シミュレーション計算を実施



全ての浸水区域を重ね合わせ、各浸水区域の最大浸水深を表示



## 浸水想定区域図(案)

### 【浸水想定区域】

下流: 国道16号まで  
上流: 高滝ダムまで

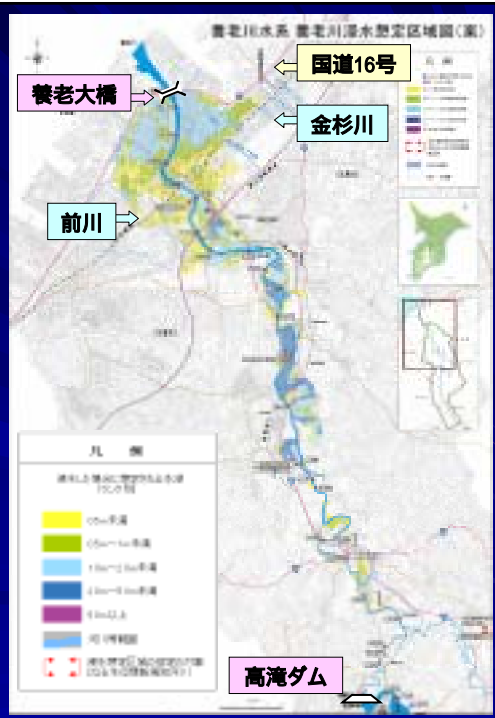


養老大橋 ~ 高滝ダム  
(約L = 30 km)

下流部

左岸側: 前川まで

右岸側: 金杉川まで



## 浸水想定区域図(案)

### 【考察】

#### 下流部(養老大橋から西広堰まで)

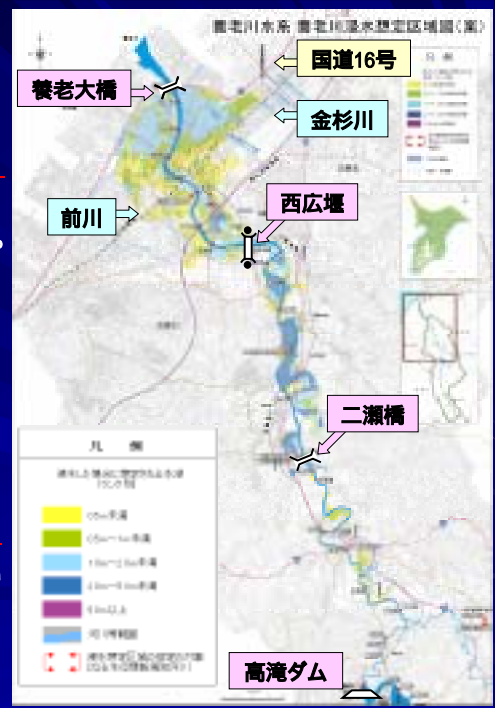
- ・氾濫水が広く拡散し、左岸側は前川、右岸側は金杉川の辺りまで拡散する。
- ・浸水区域は広く、浸水深は概ね2m未満となる。

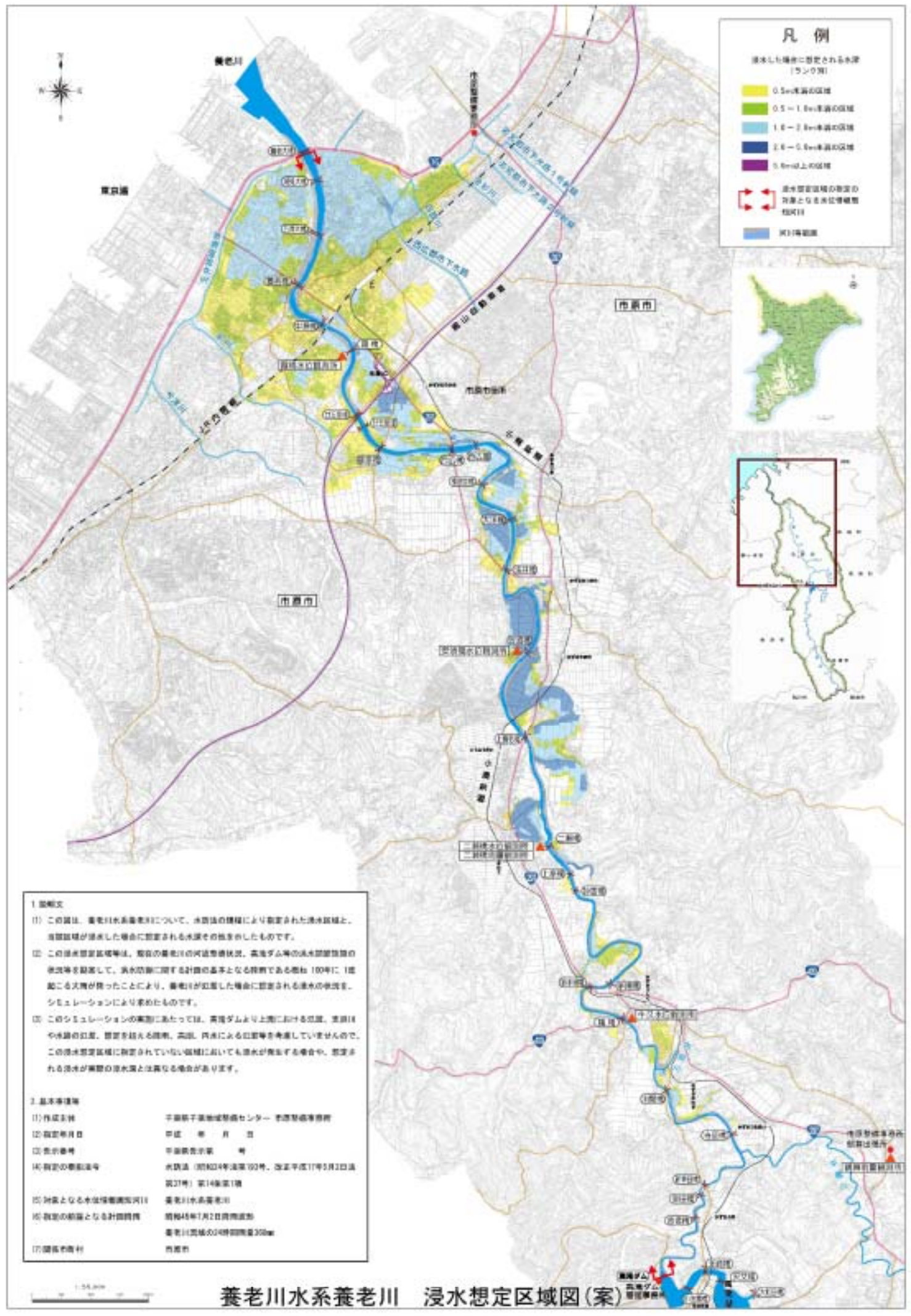
#### 中流部(西広堰から二瀬橋まで)

- ・氾濫水が山裾までの狭い範囲に貯留する。
- ・浸水区域は狭いが、浸水深は大きくなり、概ね2mを超える。

#### 上流部(二瀬橋から高滝ダムまで)

- ・氾濫水が養老川沿いの地盤高の低い箇所を越流する。
- ・浸水区域は狭く、浸水深は概ね2m未満となる。





### 凡例

浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

浸水想定区域の想定となる水位等標高  
標高計

河川等標高

**1 説明文**

(1) この図は、養老川水系養老川について、水防法の種類により指定された浸水区域と、浸水区域が浸水した場合に想定される水深その他の表示したものです。

(2) この浸水想定区域等は、現在の養老川の河況整備状況、高水ダム等の浸水想定区域の浸水等を踏まえて、洪水防除に関する計画の基本となる資料である昭和100年に1度起こる大雨が降ったことにより、養老川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を一シミュレーションにより求めたものです。

(3) このシミュレーションの範囲にあたっては、高水ダムより上流における氾濫、養老川や水防の氾濫、想定を超える降雨、高水、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際の浸水と異なる場合があります。

**2 基本事項**

(1) 作成主体 平塚新子築地建設センター 事業推進事務所

(2) 指定年月日 平成 年 月 日

(3) 表示番号 平塚新子築地 号

(4) 制定の趣意番号 水防法（昭和44年法律100号、改正平成17年5月2日法  
第27号）第14条第1項

(5) 対象となる水位等標高河川 養老川水系養老川

(6) 制定の範囲となる計画期間 昭和45年7月2日河川法第  
養老川流域の24時間降雨量300mm

(7) 関係市町村 西宮市

**養老川水系養老川 浸水想定区域図(案)**